



「北白川だより」 学校評価 臨時号

令和8年2月12日
京都市立北白川小学校
校長 原田 玲子

令和7年度 学校教育目標 『学び合い 高め合い 夢に向かって進む 北白川の子』

平素は本校教育活動の推進のためにご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、冬休み後の学校評価にご協力いただき、ありがとうございます。学校評価は児童・保護者・教職員が共通の意識をもち、連携しながら教育活動を進めるために、それぞれの立場でこれまでの取組について見つめ直す手段の一つです。そして、この学校評価の結果から見えてくる課題について分析し、よりよい教育の在り方について考えていきます。

なお、以下の考察では、A群「よくできている」とB群「だいたいできている」で『できている』、C群「あまりできていない」とD群「できていない」で『できていない』と大きく2つに分けて分析しています。

[学習面]

		A	B	C	D
児童	① まいにちのがくしゅうのめあてがたっせいできている。	46.6%	44.2%	7.1%	2.1%
	② せんせいやともだちのはなしをよくきいて、かんがえている。	57.6%	34.1%	6.8%	1.5%
	③ じゅぎょうちゅうすんでじぶんのかんがえをいったりかいたりしている。	40.9%	35.6%	19.9%	3.6%
	④ よんだり、かいたり、けいさんしたりするちからがみについている。	56.1%	35.0%	6.5%	2.4%
	⑤ いえでじぶんからしゅくだいやがくしゅうをしている。	54.6%	31.5%	8.0%	5.9%
	⑥ すすんでどくしょをしている。	47.5%	25.8%	18.4%	8.3%
	⑦ すすんでうんどうをしている。	58.8%	25.2%	12.8%	3.3%
保護者	① 我が子は、学校で学んだことを身に付けている。	54.5%	41.5%	3.6%	0.4%
	② 我が子は、人の話をしっかりと聞いて考えることができる。	46.4%	43.3%	8.9%	1.3%
	③ 我が子は、進んで自分の考えを話すことができる。	40.6%	49.1%	9.8%	0.4%
	④ 我が子は、基礎的な学力(読む・書く・計算する)が身に付いている。	59.4%	33.5%	7.1%	0.0%
	⑤ 我が子は、自分から家庭学習に取り組むことができる。	37.9%	41.1%	18.3%	2.7%
	⑥ 我が家では、本に親しむことができる環境を整えている。	48.7%	29.0%	20.1%	2.2%
	⑦ 我が子は、進んで運動に取り組んでいる。	41.5%	34.8%	21.0%	2.7%
教職員	① 確かな学力が身に付くように授業を工夫して行っている。	61.9%	28.6%	4.8%	0.0%
	② 友だちや先生の話しっかりと聞いて考える習慣がつくように取り組んでいる。	61.9%	28.6%	4.8%	0.0%
	③ 授業中、子ども達が進んで自分の考えを伝えるような授業づくりを心掛けている。	66.7%	19.0%	9.5%	0.0%
	④ 基礎的な学力(読む・書く・計算する)が身に付くように取り組んでいる。	66.7%	19.0%	9.5%	0.0%
	⑤ 家庭学習の習慣が定着するような働きかけを行っている。	57.1%	28.6%	9.5%	0.0%
	⑥ 読書の習慣が定着するような働きかけを行っている。	57.1%	28.6%	9.5%	0.0%
	⑦ 進んで運動できるように工夫したり、声をかけたりしている。	57.1%	23.8%	14.3%	0.0%

【③「じゅぎょうちゅうすすんでじぶんのかんがえをいったりかいたりしている。」の項目より】

「できている（A群+B群）」と答えた児童が、前期の82.9%に対して、後期は76.6%と、約6%低下しました。原因として考えられることは、まず、学級に慣れてきて、自ら発信する人が固定化されてきたことが考えられます。同じ集団にいと、お互いに個性を理解して関係は築いていくものの、自分のイメージが良くも悪くもついてしまい、自ら発信をあまりしていない子にとっては、発信したらどう思われるのかという不安が出てくるのかもしれません。また、単純に学習が難しくなってきた、間違いたくないという気持ちがあるののかもしれません。発信するメリットよりも、デメリットを自分で大きく感じたり、発信しない方が楽だと考えるような風潮もあったりするののかもしれません。さらには、発信しようと熟考しているうちに終わったということも考えられます。



学校では、積極的に発信する機会をつくるとともに、発信しやすいように話型を活用したり、少人数のペアで話しやすい場を設定したりと工夫しています。しかし、今回の結果を見ると、継続していくことや他にもさらにしかけが必要だと考えます。原因は多種多様にわたるので、すぐに解決できる方法があるわけではありませんが、授業改善をはじめ、今後も意識して取り組んでまいります。ご家庭でも、学校だより2月号もご一読いただき、お子さまが思いや考えを自ら伝えられるように、よろしく願いいたします。



【⑥「すすんでどくしょをしている。」の項目より】

「できている」と答えた児童が、前期の85.5%から73.3%に減りました。本校では、低学年を中心に、授業で図書館に行く時間を確保し、読書週間をつけるように取り組んでいます。そのため、学年別で見ると、1～3年生は、8割近くの子たちが進んで読書をしていると回答していますが、4・5年生で7割、6年生になると55%程度まで低下しています。高学年になるほど、授業ですべきことが増えるため、図書館にいく時間を確保しにくくなっていることも事実で、メディア時間の増加とともに本離れが懸念されます。

デジタルメディアからの情報は、まとまっていて、動画で視覚的に分かりやすいです。本を読むより、楽かもしれません。AIも発達してきて、知りたい情報を手軽に入手することができます。しかし、AIは、インターネット上の情報を収集するため、書籍で残っている情報や書籍だけの情報は収集できません。そのため、幅広い視野をもととするなら、書籍からの情報も大切です。

もちろん、書籍は、借りたり買ったりして手元にないといけないことや何冊も持ち歩かないといけないことを考えると、デジタルの良さがあることも確かです。ただ、デジタルだけだと、必要なこと・興味のあることだけを最短距離で収集できる分、狭いコミュニティで解決させてしまい、知識・経験・思考等が偏ることが懸念されます。そういう意味では、アナログの世界で一見、無駄に思えるものも無意識に自分の世界を広げてくれているのかもしれません。前期の学校アンケートでは、保護者から、アナログの不便さやエラー、ノイズも大切だというご意見もありました。

是非、お家でも、読書ができる環境や機会をつくっていただき、本が身近なものになりますようによろしくお願いいたします。



[生活面]

		A	B	C	D
児童	① じぶんからすすんであいさつをしている。	57.0%	36.8%	4.2%	2.1%
	② いえやがっこうのルールをまもっている。	50.1%	43.6%	5.3%	0.9%
	③ そうじやかたづけをじぶんでしている。	47.2%	36.5%	12.2%	4.2%
	④ せんせいやかぞくとふだんからはなしている。	65.0%	28.8%	5.0%	1.2%
	⑤ あいてをきずつけないことばづかいではなしている。	46.6%	40.4%	10.7%	2.4%
	⑥ にがてなことにもじぶんからとりくんでいる。	39.5%	41.8%	13.6%	5.0%
	⑦ じぶんにはがんばっていることがある。	76.3%	17.2%	4.5%	2.1%
保護者	① 進んで挨拶するように声かけをしている。	56.3%	37.5%	6.3%	0.0%
	② 家や学校のルールを守るように働きかけている。	56.7%	41.5%	1.3%	0.4%
	③ 掃除や身の回りのかたづけを自分でするようにしている。	20.5%	54.0%	23.7%	1.8%
	④ 子どもの話をしっかり聴くようにしている。	44.6%	52.2%	2.7%	0.4%
	⑤ 言葉づかいに気をつけて話すようにしている。	42.9%	46.4%	10.3%	0.4%
	⑥ 苦手なことにも努力する姿勢を大切にしている。	44.6%	48.7%	6.7%	0.0%
	⑦ 子どもの頑張りを認め、伝えるようにしている。	66.1%	31.3%	2.2%	0.4%
教職員	① 自分から進んで挨拶ができるように働きかけている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	② 家や学校のルールを守る意識を高めるように取り組んでいる。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	③ 自分から進んで掃除や身の回りのかたづけをするように働きかけ、自らも実践している。	71.4%	23.8%	4.8%	0.0%
	④ 子ども達に向き合い、しっかりと話を聴くようにしている。	85.7%	9.5%	4.8%	0.0%
	⑤ 言葉づかいについて指導するとともに、自らも意識している。	66.7%	28.6%	4.8%	0.0%
	⑥ 子ども達が苦手なことにも前向きに取り組めるように、意識して実践している。	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%
	⑦ 子どもの頑張りを認め、積極的に伝えるようにしている。	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%
	⑧ 「学校いじめの防止等基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている。	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%

【⑤「あいてをきずつけないことばづかいではなしている。」の項目より】

「できている」と回答した児童は 86.9%で、子どもたちは自分たちなりに言葉づかいを意識していることが伺えます。昨年度後期とほぼ同値ではありますが、今年度の前期が 90.0%だったことを考えると、若干の低下が見受けられます。

学年別で分析してみると、低学年の低下が 10%程と大きく、3年生以上はあまり変化が見られませんでした。低学年は、成長段階として、まだまだ対人関係のスキルが未熟なので、小学校という「小さな社会」で自分の思い通りにいかなかったり、自分の思ったタイミングではなかったり、我慢や折り合いが必要だったりする経験が多いと思います。むしろ、成長している過程だからこそ、気づいて低下していることが考えられます。

相手を傷つけているかどうかは、相手があつてのことなので、自分だけで操作できません。そんなつもりがなくても、タイミングやニュアンスで傷つけてしまったり、誤解を与えたりすることもあると思います。対人については、いつの時代もアナログですので、時代が変わってデジタル化が進んでも、生身の経験でつけていくしかありません。今後も、「小さな社会」として、学校での経験を大切にしていきたいと考えます。

【⑥「にがてなことにもじぶんからとりくんでいる。」の項目より】

「できている」と回答した児童は、前期 85.5%、後期 81.3%でした。約 8 割の子どもたちは苦手なことにも自分から取り組んでいるようです。選択肢が増え、苦手なことをあえてしなくても良かったり、他のことに変えたりすることができる現代にとって、実は、苦手なことに向き合うことでつく力

もあります。非認知能力といわれるテストの点数や IQ では測りにくい力で、小学校のように学力の土台を築く時期には、特に大切な力だとも言われています。

苦手なことをひたすら我慢してし続けることが、全て良いというわけではなく、失敗から学び、再挑戦する力、粘り強くやり抜くような力、感情をコントロールする力等は、したいことだけ、得意なことだけではつきにくい力だと思います。

学校でも子どもたちが自立・自律できるように背中を押していきたいと考えています。ご家庭でも過程や行動を大切に今後も声かけや見守りをよろしくお願いいたします。

○今回のアンケート自由記述欄には、保護者の皆さんに、上記の項目を振り返ったこれまでのご感想について書いていただきました。以下に、一部を抜粋・集約して紹介いたします。

【学習面】

- ・宿題に自分から取り組むようになってきた。
- ・時間はかかっても、最後までやり遂げようとしている。
- ・間違えることを恐れず、挑戦しようとする姿勢が見られる。
- ・苦手な教科にも逃げずに向き合おうとしている。
- ・算数や読み書きに苦勞しながらも、根気強く学んでいる。
- ・学校での学習を嫌いにならず、前向きに続けられている。
- ・家庭での自発的な学習や読書については、今後の課題だと感じている。

【生活面】

- ・友達に恵まれ、毎日楽しく学校に通っている。
- ・集団の中で自分の立場や役割を意識できるようになってきた。
- ・泣いたり暴れたりではなく、自分の気持ちを言葉で伝えようとする姿が増えてきた。
- ・自分の考えはしっかり持っているようだが、心の成長と共に発言を躊躇することも増えた。
- ・年下の子に優しく接するなど、思いやりのある行動が見られる。
- ・反抗的な態度や言葉遣いに悩むことがある。
- ・早寝早起きや時間の使い方には、引き続き課題がある。
- ・体を動かす機会や体力づくりについて気にかけている。
- ・学校生活全体を前向きに楽しめている。
- ・自分のことを自分でできるようになってきた。

アンケートの目的の1つでもある、それぞれの立場で振り返るという点で、お家の方自身のことを振り返った感想も複数いただきました。止まることのない毎日を過ごしていると、子どもたちも私たち大人も変化に気づきにくいことがあったり、目の前のことに追われて意識から外れてしまったりすることがあると思います。少し立ち止まって振り返ることで、気づかなかったことに気づいたり、これから意識しようと思うようなこともあったりしたかと思います。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

余談ではありますが、学校や教職員への感謝の言葉も数多くいただきました。「子どものことをよく見てくださっている」「安心して通わせることができて」「学校が楽しく学べる場所になっている」といった声は、私たち教職員にとって大きな励みです。今後も、教職員一同、子どもたちとしっかり向き合っていきたいと改めて思いました。

※保護者の皆様からいただきましたご意見についても教職員で共通理解を図るとともに、次回の「学校運営協議会理事会」でも話題にさせていただきます。